



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月29日

上場会社名 株式会社PALTAC

上場取引所 東

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糟谷 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 嶋田 政治

TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	544,986	4.4	13,794	0.3	15,126	0.7	10,399	1.4
2019年3月期第2四半期	521,804	5.4	13,750	10.4	15,019	10.1	10,251	9.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	163.65	
2019年3月期第2四半期	161.32	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	425,276	204,962	48.2	3,225.35
2019年3月期	393,603	197,237	50.1	3,103.80

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 204,962百万円 2019年3月期 197,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		34.00		34.00	68.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050,000	3.4	25,000	1.6	27,500	3.6	25,500	29.0	401.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	63,553,485 株	2019年3月期	63,553,485 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,287 株	2019年3月期	6,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	63,547,225 株	2019年3月期2Q	63,547,266 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中をはじめとした通商問題を巡る緊張の増大による影響など、先行きの不透明な状況が続く中で、雇用・所得環境の改善や底堅い企業業績により、足踏み感はあるつつも、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、気候要因による季節商品の不調や、インバウンド需要の環境変化による影響を受けたものの、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要が見受けられたほか、女性の社会進出など、生活スタイルの変化にあわせた付加価値商品は依然として堅調に推移いたしました。一方で、業界全体の成長を妨げかねない人手不足は、人件費や物流費の上昇を伴い、随所においてその影響がさらに大きくなっております。

このような状況のなか、当社は「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを行っております。小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時はもとより有事の際にも「安定供給」できる体制により、小売業ひいては消費者のみなさまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

当事業年度は「1兆円、その先へ～攻めの投資で流通改革に挑戦～」をビジョンとする中期経営計画の2年目にあたり、労働人口減少に伴う人手不足への対応をはじめとした流通における課題の解決を推進し、持続的成長による企業価値向上に取り組んでおります。

また、中期経営計画の一環である、首都圏での出荷能力増強とA I・ロボット等を活用した新物流モデルの展開による飛躍的な生産性向上を目的とした「RDC埼玉」(埼玉県北葛飾郡杉戸町/2019年11月稼働予定)の建設を順調に進めております。併せて、RDC埼玉稼働に伴う、首都圏における最適出荷体制の構築と経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため「RDC東京」(千葉県浦安市)の売却を決定するなど、事業基盤強化に向けた取組みを計画どおり進めております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高5,449億86百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益137億94百万円(前年同期比0.3%増)、経常利益151億26百万円(前年同期比0.7%増)、四半期純利益103億99百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

(注) RDC (Regional Distribution Center) とは、大型物流センターのことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて316億72百万円増加し、4,252億76百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が299億11百万円、土地が22億29百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて239億48百万円増加し、2,203億14百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が145億30百万円、短期借入金が100億円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて77億24百万円増加し、2,049億62百万円となりました。これは主に、利益剰余金が82億39百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が5億11百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より13百万円減少し、183億45百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は22億54百万円(前年同期は42億8百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益151億円、減価償却費23億79百万円、売上債権の増加額299億11百万円、仕入債務の増加額150億88百万円、法人税等の支払額46億79百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は23億42百万円(前年同期比41億85百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出37億55百万円、有形固定資産の売却による収入14億42百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は45億83百万円(前年同期は17億51百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額100億円、長期借入金の返済による支出31億74百万円、配当金の支払額21億60百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年7月26日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,359	18,345
受取手形及び売掛金	186,451	216,362
商品及び製品	43,286	42,852
その他	16,034	17,886
貸倒引当金	△84	△98
流動資産合計	264,047	295,347
固定資産		
有形固定資産		
土地	46,417	48,646
その他(純額)	58,778	57,905
有形固定資産合計	105,195	106,552
無形固定資産	1,029	981
投資その他の資産		
投資その他の資産	23,336	22,399
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	23,331	22,394
固定資産合計	129,556	129,928
資産合計	393,603	425,276
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,806	166,337
短期借入金	2,500	12,500
1年内返済予定の長期借入金	5,950	5,052
未払法人税等	5,103	4,863
賞与引当金	1,713	1,477
返品調整引当金	181	175
その他	18,349	21,418
流動負債合計	185,604	211,825
固定負債		
退職給付引当金	2,451	2,495
その他	8,310	5,993
固定負債合計	10,761	8,489
負債合計	196,366	220,314

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	143,742	151,981
自己株式	△8	△9
株主資本合計	187,429	195,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,803	9,291
繰延ヘッジ損益	4	1
評価・換算差額等合計	9,807	9,293
純資産合計	197,237	204,962
負債純資産合計	393,603	425,276

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	521,804	544,986
売上原価	481,155	503,181
売上総利益	40,649	41,804
販売費及び一般管理費	26,898	28,009
営業利益	13,750	13,794
営業外収益		
受取配当金	178	177
情報提供料収入	881	917
不動産賃貸料	69	67
その他	226	240
営業外収益合計	1,356	1,403
営業外費用		
支払利息	65	48
不動産賃貸費用	19	18
その他	1	3
営業外費用合計	87	71
経常利益	15,019	15,126
特別利益		
投資有価証券売却益	3	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	12	1
減損損失	—	18
投資有価証券売却損	—	6
ゴルフ会員権評価損	—	2
災害による損失	127	—
特別損失合計	139	28
税引前四半期純利益	14,882	15,100
法人税、住民税及び事業税	4,412	4,436
法人税等調整額	219	264
法人税等合計	4,631	4,700
四半期純利益	10,251	10,399

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	14,882	15,100
減価償却費	2,138	2,379
減損損失	—	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△495	△235
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△23	△5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	136	55
受取利息及び受取配当金	△178	△177
支払利息	65	48
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	4
災害損失	127	—
売上債権の増減額(△は増加)	△15,662	△29,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,119	434
仕入債務の増減額(△は減少)	9,900	15,088
未払消費税等の増減額(△は減少)	80	921
その他	△1,547	△1,441
小計	8,306	2,292
利息及び配当金の受取額	178	177
利息の支払額	△61	△45
法人税等の支払額	△4,215	△4,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,208	△2,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,508	△3,755
有形固定資産の売却による収入	50	1,442
無形固定資産の取得による支出	△83	△101
投資有価証券の取得による支出	△57	△54
投資有価証券の売却による収入	9	177
その他	62	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,528	△2,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,200	10,000
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,800	△3,174
リース債務の返済による支出	△52	△81
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,098	△2,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,751	4,583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,071	△13
現金及び現金同等物の期首残高	21,648	18,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,576	18,345

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第2四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別の名称	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	
化粧品	140,106	101.2
日用品	239,779	106.2
医薬品	72,204	101.1
健康・衛生関連品	85,338	107.9
その他	7,557	106.6
合計	544,986	104.4

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第2四半期累計期間における販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
Drug	ドラッグストア	343,371	104.6
HC	ホームセンター	52,231	103.2
CVS	コンビニエンスストア	38,253	101.1
DS、Su.C	ディスカウントストア、スーパーセンター	40,333	116.4
SM、SSM	スーパーマーケット、スーパースーパーマーケット	27,155	95.6
GMS	ゼネラルマーチャндаイジ ングストア	20,273	107.8
その他	輸出、その他	23,367	100.7
合計		544,986	104.4

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。